



# いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

## 第74回大会 TEAM FUKUOKA NEWS



福岡県選手団サポートニュース R1. 10.7(月) Vol.13

### 柔道競技 女子 V2達成！ 見事優勝！

福岡の女性アスリートが輝いた。龍ヶ崎市にある、たつのこアリーナで行われた柔道競技。福岡の初戦は2回戦からで広島県との戦いを快勝でスタートした。続く準々決勝は京都府と対決。ここも2-0で撃破し、順当に勝ち上がる。さらに、準決勝は山梨県との勝負。副将戦までは0-1で負けている状況だったが、大将の児玉ひかる選手（東海大学）が意地の一本勝ちで1-1の内容により福岡県に軍配は上がる。そしてむかえる決勝戦。静岡県との対戦だった。結果は3-0で見事優勝。泉監督は初戦から「**楽しもう！次に繋がる戦いをしよう！**」と選手に言い続けた結果が、この優勝を手繰り寄せたのではないかとコメント。立川莉奈選手（福岡県警察）は「ブロック予選は流れが悪くて苦労した。本国体では、チームとして良い流れで戦うことができたことが勝因です」と笑顔で語ってくれた。昨年の福井国体に続き、2連覇となった柔道競技女子の快挙。後半戦のチーム福岡に良い風を吹き込んでくれた。



柔道女子チーム

### 陸上競技 入賞RUSH！！ 大会新記録も誕生！

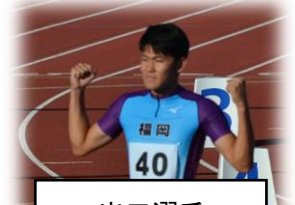
Vol.12において、4日（金）大会初日に3名の入賞者についてお伝えしたが、6日（日）までの競技終了時点で合計12名の入賞者を誕生させている福岡陸上チーム。【※下記入賞者一覧表参照】さらにその中の2名の選手が大会新記録で入賞していることから、今年の福岡陸上チームの層の厚さが分かる。福岡陸上競技協会強化部は、「一貫指導システム」を県内でも早期に構築させた競技団体の一つだ。小学校～成人までの選手強化の流れをつくっているからこそ、現在の結果がでていいると考えられる。まだ、7日（月）の準決勝に出場する選手や、国体では入賞の常連ともいえる男子4×100mRの準決勝を控えている。このままの勢いでいけば、陸上競技別天皇杯も上位入賞も十分にありえる。天皇杯・皇后杯の更なる順位上昇の鍵となる陸上競技。是非ともこの勢いで最終日まで駆け抜けてもらいたい。

福岡県陸上チーム 入賞者一覧 ※10月6日終了時点

種別	種目	氏名	所属	順位
成年男子	走高跳	真野 友博	(株)九電工	1位※大会新
少年男子A	4.00mH	出口 晴翔	東福岡高等学校	1位
成年男子	100.00mW	古賀 友太	明治大学	1位
少年男子共通	走高跳	永島 将貴	飯塚高等学校	2位
少年女子A	4.00mH	青木 穂花	筑紫女学園高等学校	3位※大会新
少年女子共通	8.00m	柳楽 あずみ	筑紫女学園高等学校	3位
成年女子	砲丸投	太田 亜矢	福岡大学	4位
少年男子A	5.000m	キモソッフ ピクチャー	福岡第一高等学校	4位
少年男子	1.1.0mH	宮崎 匠	東福岡高等学校	5位
成年男子	1.00m	南山 義輝	早稲田大学	6位
少年男子共通	三段跳	水野 皓大	福岡県立三池高等学校	6位
成年女子	棒高跳	台信 愛	福岡県立中間高等学校	6位



真野選手



出口選手



青木選手

### 入賞続々と！最後まで「TEAM FUKUOKA」は諦めない！

6日（日）現在までに入賞している競技団体についてお伝えしたい。まだ、7日（月）、総閉会式のある8日（火）まで決勝種目を残す競技団体もある。最後の最後まで福岡が一つとなって戦うことで、目標とする順位は近づいてくると信じている。**頑張れ！頑張れ！チーム福岡！**

- ボクシング競技[少年男子] ライトフライ級 3位入賞  
中山颯太選手（東福岡高校）
- アーチェリー競技[成年男子] 団体 5位入賞  
前田悠帆選手（グローリー）・長谷川将選手（近畿大学）・永友隼斗選手（近畿大学）
- ハンドボール競技[成年男子] 5位入賞
- スポーツクライミング競技[成年女子] ポルダリング 6位入賞  
新高萌香選手（福岡県山岳連盟）・柴戸珠希選手（福岡歯科衛生専門学校）



中山選手



ハンドボール成年男子



アーチェリー成年男子



スポーツクライミング  
女子ペア

